

NEWAGE



高山商工会議所青年部会 〒506-8678 高山市天満町5-1 TEL 0577.32.0380 FAX 0577.34.5379
ホームページアドレス <http://www.t-yeg.com> メールアドレス t-yeg@takayama-cci.or.jp

FAX配信用

例会の報告と予定

●10月例会報告 広報委員長 福寿良太

10月15日地場産センター5階にて「アスクール株式会社」取締役の久原義己氏を講師に迎え「壮絶！！アスクール起業物語」というテーマで講演が行われました。当日は突然の雷雨のなかを公開例会ということで、会員のほか一般聴講者を含め多数集まったなか、創業時からの苦勞からこれからの在り方まで語っていただきました。講演では、巨大なライバルに対して「お客様のために進化するアスクール」という理念のもと、いろいろな困難があるなか品揃え、価格、物流のタブーをつぎつぎと破り、常にお客様の声を大切にしてきたことが今の成長につながっている、とのことでした。

職種の違いはあるものの、お客様と接する限り「会社のため」ではなく、「お客様のために」ということを改めて認識させられました。

●10月研修会報告 研修委員長 堀尾雅紀

本年度第1回目の研修会として、高山商工会議所の共済制度を委託している、アクサ生命保険株式会社から岐阜支社長、坪内様をお招きし、役員向けの退職金準備についてお話を頂きました。

一般的な退職金適正額の算出方法（税務上の範囲）も紹介されましたが、社長、役員退職金額については、勤続年数や最終報酬月額により様々だと思われまます。退職金準備の方法としては、各社で積み立てをするか、銀行から退職金の借入をする事が殆どだそうです。ただし、銀行も退職時に企業が赤字であれば融資を断わるでしょうし、仮に融資を受けたとしても、多大な金額を後継者に負債として残す結果になりますので、好ましい方法ではありません。また退職金の準備をしていないため、社長を退く機会をどんどん延ばしてしまうケースもあるそうです。そこで毎月の支払い保険料を損金計上できる生命保険を利用し、もしもの死亡に備えながら、社長、役員退職時に解約返戻金がピークになるように設定した保険の活用方法のお話もありました。

いずれにしろ、退職後の生活には、色々な不安が付きまといまますので、出来るだけ早い時期から、企業にとつても効率の良い、計画的な退職金準備の必要性があると感じました。

●全国大会 大阪大会に参加して 常任理事 高藤 孝司

冷たい雨がそぼ降る中、11月8日金曜日午前5時、私達は一路大阪へ向かって出発しました。道中は全国大会の会費の話や登録人数の話などブロック大会との違いに驚き、どんな式典・講演会・分科会・懇親会が開催されるのか興味津々に会場に乗り込みましたが、会場についた瞬間その期待は脆くも崩れ去りました。

大会は二日間に分かれ、初日に懇親会があったんですが、料理の量はどう見ても少なく、飲物は「たらい」に氷を入れた中に発泡酒の缶とお粗末な懇親会でした、私はとても懇親会のショックが大きく次の日は大阪の街を散策することにしましたので、式典・講演会には出席しませんでした、式典・講演会はどこでも同じで退屈だったそうです。これではっきりと解りました「東海ブロック大会飛騨高山大会」はやっぱり大成功だったんです。

●勉強会のご案内

11月26日（火）地場産センター4階にて高山商工会議所専務理事の小瀬信行様を講師に迎え「経済を基盤とする市町村合併の勉強会」が渉外委員会担当で開催されます。多数のご参加をお願いします。

●12月研修会のご案内

12月2日（月）地場産センター4階にて会員の向田真一君を講師に「戦略的情報化セミナー エコマース必勝法 奥飛騨で魚群探知機を売る男」として研修会が開催されます。多数のご参加をお願いします。

●臨時総会及び忘年例会のご案内

12月13日（金）PM5時30分より地場産センター5階にて臨時総会がまた引続き午後7時より ザ・アリス（下一之町）にて忘年例会が開催されます。

多数のご参加をお願いします。会費5,000円は当日ご持参下さい。

●1月の予定

例会 1月14日（火） スポーツ交流会ボウリング大会
研修会 1月16日（木） 江戸時代の飛騨人に学ぶデフレ対策と知恵